

1 第5回 改正民法研修(債権関係)〈参集型・オンライン聴講型〉

令和2年4月1日施行の改正民法では、債権関係の多くが改正され、自治体の業務でも、見直しが必要な部分があります。この研修では、法改正の概要、自治体業務への影響及び適切な対応・留意点等について、現役弁護士が、法律初心者にも理解しやすいよう、わかりやすい言葉で丁寧に解説します。

〔理解・習得のポイント〕

- 改正民法の概要
- 改正民法の業務への影響、適切な対応、留意点
- 法律的な考え方の基本

実施日

令和6年
5月9日(木)～10日(金)

対象

受講を希望する職員

人数

■ 参集型 30人程度
(※オンライン聴講対応)
※聴講数にシステム上の制限有

申込

別紙受講申込書を送信ください。
申込期限：4月12日(金)

準備物

ポケット六法、自治六法等の六法を準備してください。種類は問いません。

講師

ひろむ法律事務所 弁護士

けむ やま まさ ひろ

煙山 正大氏



当所、中堅職員研修で「民法」を指導し、わかりやすさは、受講者から絶賛されています。

仙台弁護士会では法教育委員会委員、子どもの権利委員会委員等を担当し、平成31年度より仙台市スクールアドバイザーを務めています。

●●講師からメッセージ●●

改正民法の中には従前のルールと大きく異なる部分があるので、「今までどおり」に処理してしまうと思われトラブルが生じる可能性があります。

本講義では、改正の内容やその背景にある考え方、実務上注意すべき点について、具体的事例(設問)をもとに解説します。

※ 本年度から、オンライン受講者の方には、修了証は交付いたしませんので承知願います。

月日	時刻	内 容
5月9日(木)	9:30	開講式・オリエンテーション
	10:00	1 民法総則について ・意思表示
	12:00	・時効
		昼休み
	13:00	2 債権各論(契約)について ・売買, 賃貸借
		宿泊オリエンテーション
10日(金)	9:00	債権各論(契約)について(続き) ・定型約款
	12:00	・契約の解除
		昼休み
	13:00	3 債権総論について ・債務不履行の責任等 ・法定利息 ・保証
	16:00	・債権譲渡
		閉講式

令和5年度受講者の声(相続関係)

- ・改正前と改正後の各事例への対応について、法的根拠を確認しつつ比較することで、旧民法の問題点、改正に至ったことにより、解決する事例を具体的に学ぶことができた。
- ・初学者でも理解しやすく、制度概要と事例を基にした検討を交互に説明していただき、制度及び改正の主旨がイメージしやすかった。
- ・全く知識がなく、「何となく」で理解していたことが、法的根拠や考え方の裏付けを学ぶことができ、大変勉強になりました。
- ・解説も含めわかりやすく、聞き入ってしまいメモを取るのも忘れてしまうくらいでした。

2 第64回 風水害を想定した災害対応研修 〈参集型〉

近年、東北地方でも風水害の被害を受けることが増加しています。自治体には、被害を最小限に止める防災・減災に務め、災害発生時の対応、事後の復旧・復興を想定しておくことが求められています。

この研修は、危機管理部門の職員に限らず災害に対応する全ての職員が、いざという時に適切な対応が取れるよう、専門家の講義と被災を経験した自治体職員による経験談を共有することで、東北地方の広域的視野を含め、風水害に対する対応能力の向上を図ります。

〔理解・習得のポイント〕

- 風水害に関する自治体対応の基本
- 被災自治体職員の経験談を基にした所属自治体の実践的な対応の想定

実施日

令和6年
5月21日(火)～23日(木)

対象

- 災害対応に関わる職員及び興味のある職員
- 受講を希望する職員

人数

30人程度

申込

別紙受講申込書を送信ください。
申込期限：4月19日(金)

講師

■東北大学災害科学国際研究所

前副研究所長・教授 まる や ひろ あき 丸谷 浩明 氏

事業継続マネジメント (BCM), 企業防災, 防災計画, 防災法制, 防災ボランティア

准教授 さ とう しょう すけ 佐藤 翔輔 氏

災害伝承学, 災害情報学, 災害文化, 情報処理過程, 避難行動

准教授 もり ぐち しゅう じ 森口 周二 氏

斜面災害, 地盤災害, 数値解析, 災害調査

■関西大学環境都市工学部システム工学科

准教授 はし もと まさ かず 橋本 雅和 氏

河川工学, 防災工学

■環境省 東北地方環境事務所

資源循環課 職員

月日	時刻	内 容		講義・演習
5月21日(火)	10:00	開講式・オリエンテーション		
	10:30-12:00	1 研修プロローグ	佐藤准教授	
		昼休み		
	13:00-15:20	2 風水害等に対応する基本的防災制度及び平常時の備え	丸谷教授	
	15:30-17:00	3 近年の風水害とその気象条件	橋本准教授	
	宿泊オリエンテーション			
22日(水)	9:00-12:00	4 災害時の地方自治体と国, 他自治体, 民間との連携	丸谷教授	
		昼休み		
	13:00-16:30	5 ワークショップ:被災自治体(県)の経験を聞く・学ぶ 令和元年台風19号時の体験談(宮城県災害対策本部, 防災砂防課)	佐藤准教授	
23日(木)	9:00-10:30	6 土砂災害の予測と評価	森口准教授	
	10:40-12:00	7 災害廃棄物について	東北地方環境事務所	
		昼休み		
	13:00-16:30	8 ワークショップ:被災自治体(市・町)の経験を聞く・学ぶ 令和元年台風19号時の体験談(大郷町, 大崎市)	佐藤准教授	
		閉講式		

◆ ワークショップ ◆

「令和元年台風19号」での自治体職員の体験談から学ぶ

台風19号(令和元年10月12日～13日)発生から約1か月間の自治体職員の体験を時系列に聞き、災害を疑似体験することで、自分自身が取るべき行動を再確認し、危機に備えます。

■ ワークショップの流れ

- 1 スピーカー1人目の体験談（ワークシート記入）
- 2 スピーカー2人目の体験談（ワークシート記入）
- 3 両スピーカーに対し、質疑応答
- 4 グループ討議（ワークシート共有）
- 5 全体発表
- 6 両スピーカーからコメント
- 7 佐藤准教授から総括

■ 災害対応体験談 スピーカー予定者

[] 内は「令和元年台風19号」当時の所属・職名

- ◇ 宮城県総務部私学・公益法人課 課長 伊藤 哲也 氏
〔宮城県総務部危機対策課 課長補佐（総括担当）〕
 - ・ 県の災害対策本部での体験：情報収集，市町村支援，応援職員対応 等
- ◇ 宮城県土木部港湾課 技術副参事兼総括課長補佐 伊藤 力 氏
〔宮城県土木部防災砂防課 技術補佐（防災企画班 班長）〕
 - ・ 県の土木部門防災砂防課での体験：復旧復興，国の支援 等
- ◇ 宮城県黒川郡大郷町農政商工課 課長補佐 赤間 悠太 氏
〔宮城県黒川郡大郷町総務課 交通防災係長〕
 - ・ 町の災害対策本部での体験：災害警戒本部，災害対策本部，避難勧告・避難指示発令
- ◇ 宮城県大崎市鹿島台総合支所 総合支所長 齋藤 健治 氏
〔大崎市鹿島台総合支所 地域振興課 課長〕
 - ・ 市の出先機関での体験：消防団との連携，災害廃棄物，ボランティア対応 等

令和5年度受講者の声

- ・ 災害対応を体系的に学ぶことができとても良かった。他の自治体の方と対面でお話できたことも、今後の自身の仕事に活かすことができそうです。
- ・ 大雨対応について、様々な視点からの講義が大変参考になった。また、経験に基づく生の声を聞くことができたことがとても良かった。
- ・ 風水害の基礎を学べたとともに、実際の災害対応の状況を聞くことができ、非常に有意義な研修だった。

3 第38回 接遇研修指導者養成研修〈参集型〉

多様化、複雑化する住民ニーズに「公務の接遇」を意識し適切に対応することが、行政の信頼を高めることにつながります。若手職員を含めた組織全体でこの接遇の意識を共有し、一体感を持った住民対応を行うには、組織や地域の実情に通じた職員が講師を務める研修が効果的です。

この研修では、現場で起こりうる場面設定による模擬講義演習を通じて、実践的な指導スキルの習得を目指します。「新規採用職員向け研修講師」をはじめ、「窓口等の接遇指導」、「接遇対応マニュアル作成」等に役立つ研修です。

〔理解・習得のポイント〕

- 公務特有の接遇のあり方
- クレーム対応の理解、対応手法
- 「模擬講義」による講師スキル

実施日 令和6年
5月29日(水)～5月31日(金)

- 対象
- 接遇研修の指導職員(予定者)
 - 受講を希望する職員

人数 定員20人
※ 受講申込者が14人未満の場合は、実施しない場合があります。

申込 別紙受講申込書を送信ください。
申込期限：4月26日(金)

費用 宿泊負担金の他に
テキスト代 7,837円
(消費税込)

※修了者には、(一財)公務人材開発協会から、接遇講師の認定書が交付されます。

講師

(一財)公務人材開発協会 講師

かね こ きょう こ
金子 恭子 氏

話し方の講師も務めます。

メリハリのある講義は、受講者を引きつけ、具体的でわかりやすい説明は、日頃の疑問を解決します。



月日	時刻	内 容		
5月29日(水)	13:00	開講式・オリエンテーション	講義演習	
	13:30	第1章 公務における接遇		
	16:55	第2章 マナーとコミュニケーション		
		宿泊オリエンテーション		
5月30日(木)	9:00	マナーとコミュニケーション(続き)		
	12:00	第3章 面接対応		
				昼休み
31日(金)	13:00	面接対応(続き)		
	16:25	第4章 電話対応		
31日(金)	9:00	第5章 クレーム対応		
	12:00	第6章 よりよい接遇をめざして		
			昼休み	
	13:00	よりよい接遇をめざして(続き)		
	15:50	指導会議		
		閉講式		

令和5年度受講者の声

- ・とてもわかりやすく、押さえておきたい重要なポイントが理解できました。人前で話すことは、今でも緊張してしましますが、先生の話し方を3日間学び、感動したので少しでも自分でもできるよう努力したいと思います。
- ・他の参加者が指導役をしている様子を見て参考になる気づきがたくさんありました。指導役は緊張しましたが、先生の温かいフィードバックもあり、とてもありがたく思いました。
- ・テキストが非常に練られており、参加者とのやりとりを通して学ぶべきことが明確になる形だったので、とても分かりやすかった。先生の説明がスーッと心に入るものだったのも良かった。

4 第9回 研修企画者養成研修〈参集型〉

限られた人材で組織成果を向上させるための要素として、職員一人ひとりの能力向上があります。研修担当者には、組織の人材育成計画と組織の研修ニーズをベースに、職種や階層等が異なる多様な職員に適した研修を企画・実施することで職員の能力向上を図ることが期待されます。

自らがカリキュラム作成をすることで、講師に頼りきりにならない、組織に適合した効果的な研修につながっていきます。

近年変化が著しい「研修」について、最新の情報を含む講義と・演習を実施します。

〔理解・習得のポイント〕

- 研修企画・立案の基本
- 研修効果を高めるためのカリキュラム

実施日

令和6年
6月5日(水)～6日(木)

対象

- 職員研修を担当する職員
- 受講を希望する職員

人数

18人程度

申込

別紙受講申込書を送信ください。
申込期限：5月2日(木)

準備物

パソコン
※カリキュラム作成に使用します。

講師

(一社)日本経営協会 講師

ひら い さい こ

平井彩子氏



経済産業省ダイバーシティ普及アンバサダー事業 委員, 中小企業診断士, 基本情報処理技術者

「IT(PC, システム)を活用した業務の改善, 業務フローの再構築」,
「人事評価システムの構築」の支援などを行っています。

朝日デジタル「ワーク・ライフ・バランスとは?改めて意味を解説」, 企業実務「DX時代に必須のリスクリングの進め方」等投稿

月日	時刻	内 容	
6月5日(水)	10:00	開講式・オリエンテーション	
	10:30	1 研修企画・運営者としての役割理解	講義
	12:00		
		昼休み	
	13:00	2 人材育成最前線・最新用語 3 研修の企画と立案の基本	講義
	17:00		
	宿泊オリエンテーション		
6日(木)	9:00	4 研修効果を高めるためのカリキュラム作成	演習
	11:30		
		閉講式	

令和5年度受講者の声

- ・人材育成に関する近年のトレンドや企画・立案の手法について学ぶことができ、期待どおりの内容だった。
- ・受講生の発言から話をふくらませて説明していただき、いろいろ学ぶことができた。職場に戻って、今の研修のブラッシュアップに繋げたい。
- ・様々な角度からの提案を伺い、自分にはない視点を知ることができた。部下にもぜひ受講させたい。

5 第9回 研修講師養成研修〈参集型〉

職場内研修の講師を務めることになったら、どう準備したらよいでしょうか。この研修では、わかりやすいレッスンプラン・カリキュラム作成のスキル及び講師としての話し方、受講者とのやり取りの仕方等のインストラクションスキルの向上を講義・演習・模擬講義により図ります。

〔理解・習得のポイント〕

- レッスンプラン作成
- 「模擬講義」による講師スキル

実施日

令和6年
6月6日(木)～7日(金)

対象

- 職員研修の指導職員(予定者)
- 受講を希望する職員

人数

18人程度

※ 受講申込者が10人未満の場合は、実施しない場合があります。

申込

別紙受講申込書を送信ください。
申込期限：5月2日(木)

準備物

パソコン

※発表資料の作成及び修正に使用します。

講師

(一社)日本経営協会 講師

ひらい さいこ

平井彩子氏



経済産業省ダイバーシティ普及アンバサダー事業 委員, 中小企業診断士, 基本情報処理技術者

「IT(PC, システム)を活用した業務の改善, 業務フローの再構築」,
「人事評価システムの構築」の支援などを行っています。

主な講義実績

内閣府, 千葉県, 青森県, 福島県, 郡山市, 他多数自治体

大手自動車メーカー, 大手建材メーカー, 中小企業大学校, 中小企業診断士向け理論研修 他

月日	時刻	内容	
6月6日(木)	13:00	開講式・オリエンテーション	講義 演習
	13:15	1 研修内部講師の役割・必要な能力 2 レッスンプランやカリキュラム構成のコツ 3 インストラクションスキルの向上	
	17:15	4 プレゼンテーションスキルの向上	
		宿泊オリエンテーション	
7日(金)	9:00	5 模擬講義準備 6 模擬講義	講義 演習
	12:00	(ビデオ撮影、視聴、ブラッシュアップ)	
		昼休み	
	13:00 16:00	6 模擬講義(続き)	
		閉講式	

令和5年度受講者の声

R5年度「研修講師養成研修」より

・目線, 話すスピード, 声のトーン, 話の「間」など様々なスキルを学び, 体験できて良かった。

・人の前での発表, ビデオ撮影での確認ということで, とても緊張しましたが, 自分の話しぶりのクセを知ることができとても有意義な演習でした。

・講師としてのスキル, モチベーションの保ち方, 臨機応変な対応など, 大変役に立つ内容でした。

7 第23回 JKET (公務員倫理) 指導者養成研修 <参集型>

公務員には公私を問わず常に高い倫理観を保持することが求められています。職員の不祥事は住民の信頼を損なうばかりでなく、組織を疲弊させることにも繋がります。また、損なわれた信頼を回復するのは容易ではありません。この研修では、公務員倫理の指導者となることが予定される職員に必要とされる知識の理解と技法の習得を図るため、具体的な事例による模擬講義演習を実施します。

[理解・習得のポイント]

- 公務の特性を捉えた公務員倫理
- 望ましい職場風土形成のための「リーダーの役割」
- 「模擬講義」による講師スキル

実施日

令和6年
6月19日(水)～21日(金)

対象

- JKET研修の指導職員(予定者)
- 受講を希望する職員

人数

定員18人

※最少実施人数は9人です。
申込者が9人未満の場合は人事院の規定により実施できませんので、御了承ください。

申込

別紙受講申込書を送信ください。
申込期限：5月17日(金)

費用

宿泊負担金の他に
テキスト代 5,642円
(消費税込)

令和5年度受講者の声

- ・講師から何度もお話があった「住民視点」が印象に残った。今後は組織内だけで物事を判断するのではなく住民視点で判断することを意識したい。
- ・公正性・公平性・市民目線など考える良い機会でした。
- ・自分の倫理観が把握でき足りない部分の知識等の理解が深まりました。

講師

(一財)公務人材開発協会 講師
ふく いずみ ひろし
福 泉 裕 氏



JKET研修の他、待遇研修、JST研修、リーダーシップ研修などの講師を務めている経験豊富な講師です。

※修了者には、人事院からJKET指導者の認定書が交付されます。

月日	時刻	内 容	
6月19日(水)	9:30	開講式・オリエンテーション	講義演習
	9:45	第1章 倫理とは	
	12:20		
		昼休み	
	13:20	倫理とは(続き)	
17:25	第2章 公務員に求められる倫理		
	第3章 公務員に求められる規律		
	宿泊オリエンテーション		
20日(木)	8:30	公務員に求められる規律(続き)	
	11:45	第4章 実際の場面で	
		昼休み	
12:45	17:00	実際の場面で(続き)	
21日(金)	8:30	実際の場面で(続き)	
	11:40	昼休み	
	12:30	第5章 望ましい職場風土の形成	
	16:00		
	閉講式		

〔研修会場・連絡先等〕

1 研修会場

公益財団法人 東北自治研修所（東北自治総合研修センター内）

〒981-3341 宮城県富谷市成田二丁目22-1

TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

（アクセスは、東北自治総合研修センターHPを参照してください。）

2 経 費

■ **研修受講料は、無料です。**（東北6県からの負担金を充てています。）

■ **青葉寮（宿泊施設）利用負担金**

1泊当たり5,470円（夕食、朝食を含む。）（税込）

- ・研修終了後に発行する請求書により、貴機関から指定の口座へ振り込み願います。
- ・夕・朝食代の現金別払いを希望する場合は、受講決定後提出の「受講前の報告書」に記載ください。
- ・前・後泊する場合は、4,100円/泊（夕食・朝食無し）を追加し、外泊する場合であっても、負担金は減額いたしません。
- ・前泊して夕・朝食を希望する場合は、「受講前の報告書」で申し込み、現金で支払ってください。

■ **テキスト負担金**

テキスト代(実費)を負担していただく研修もあります。各研修の案内を御覧ください。

3 宿泊・食事・受付

■ 受講者は全員、東北自治総合研修センター内の寄宿舍「青葉寮」に宿泊していただきます。

■ 食事は、センター内食堂を御利用願います。夕・朝食代は宿泊負担金に含みます。昼食は、別途、券売機で食券を購入してください。

■ 開講式の30分前までに、受付で手続きしてください。（時間厳守）

詳細は、受講決定時にお知らせします。

4 新型コロナウイルス対策

国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び宮城県の対処方針に対応した感染防止対策を行います。詳細は、受講決定時にお知らせします。

5 施設の概要

快適な研修生活をお送りいただくために、宿泊室は全室個室となっているほか、以下の施設を備えています。

- 研修棟：講堂1室、教室7室、演習室20室、図書室〔蔵書約6,600冊、パソコン(インターネット接続可)、DVD〕、ラウンジ8室等
- 宿泊棟：宿泊室250室(うち身障者用3室)、娯楽室、談話室、大・中浴場(シャワールームあり)、インターネット接続可(有線LAN)、食堂、売店
- 屋内外施設：体育館(バレーボール・卓球等)、テニスコート、駐車場(270台)

※詳細は、東北自治総合研修センターのホームページをご覧ください。

6 連絡先

公益財団法人 東北自治研修所

〔東北6県の自治体職員の資質・能力の向上を図るため、6県の出資により設立された法人です。〕

URL：http://www.thk-jc.or.jp TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

担当：三浦保徳、佐々木信一、泉澤千恵子 e-mail：kensyu@thk-jc.or.jp